

令和 7 年度 研究部事業報告用紙

学校保健

部

(1) 経過報告

	月日	曜日	内 容	会 場
1	4月28日	月	集中部会・小委員会①	磐周教育研究所
2	5月22日	木	学校保健部小委員会②	磐周教育研究所
3	6月16日	月	学校保健部小委員会(臨時)	磐周教育研究所
4	7月3日	木	学校保健部小委員会③	磐周教育研究所
5	7月30日	水	磐周教育研究集会(分科会)	磐周教育研究所
6	8月5日	火	体格疾病集計	磐周教育研究所
7	8月6日	水	磐周学校保健研究部 小委員会(静教研準備会)	磐周教育研究所
8	8月7日	木	磐周学校保健研究部 小委員会(事後研修会)	磐周教育研究所
9	9月25日	木	学校保健部小委員会④	磐周教育研究所
10	11月17日	月	第1回学校保健部会	磐周教育研究所
11	12月9日	火	学校保健部小委員会⑤	磐周教育研究所
12	3月		第2回学校保健部会	磐周教育研究所

(2) 反省及び磐周全体に関する課題と改善策

(各研究部の人数・参加者の研修意欲・研修方法について等、いろいろな視点で振り返りをお願いします。)

中学校区を研修の母体として校区児童生徒の健康課題を解決するために、心の教育や生活習慣の改善をテーマにした実践を積み重ねてきた。その結果、小中連携した系統的な指導や、保護者・地域を巻き込んだ実践ができ、取組の成果が確認できた。

1、研修の流れ

テーマ「生涯を通して、自ら生きる力を育てる健康教育」～心身ともに健康な生活を送るためのヘルスリテラシーの育成～

・中学校区でこれまでに積み重ねた取組を継続しつつ、「ヘルスリテラシー」の視点を加えた研修に取り組んだ。

・ヘルスリテラシー育成の手立てとして、ヘルスリテラシーの尺度(山本・渡邊, 2018)を実践と評価に取り入れた。

・各中学校区の健康課題と目指す子供の姿を明確にし、解決に向けたPDCAサイクルによる実践内容を検討した。

・中学校区を母体とし、経年的に成果を見ることができるよう研究を進めた。

2、研修時間の確保

・養護教諭の職務上、共通理解が必要な事項や検討事項も多いため、第1回の地区研修を例年と同様に、行事部と同時刻から開始していただきたい。

・今後も紙面、ミライム等を活用して、要点を押さえた伝達ができるような工夫をし、中学校区の研修時間の確保ができるようにしていきたい。

3、静教研を終えて

令和7年8月7日に実施された静教研のまとめでは、以下の課題が抽出された。

①児童生徒の評価や成果の見取りに難しさを感じている。

②児童生徒のヘルスリテラシーの力が高まった中学校区は半数ほどだった。

校区の課題を明確にすることで、これらの課題を改善できるのではと考える。